

2025 年度第 12 回価格審査会の開催について

2025 年度第 12 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2026 年 3 月 13 日(金) 10:00~12:00
場 所	本部 6 F 大会議室
委 員	松田 寛志 日本工営株式会社 日本地域統括（兼）東京支店長 石井 修一 東日本建設業保証株式会社 経営企画部 副部長 遠藤 和重 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリنز・テクリスセンター長 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 星野 正 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：小林 法雅、次長：南 昌宏 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：大澤 勝、課長：本間 哲

2025 年度第 11 回価格審査会議事録(案) 確認

2025 年度第 12 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
1. 「建設物価」4月号、「Web 建設物価」4月号 「土木コスト情報」春号、「建築コスト情報」春号の価格調査の入稿状況 ・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 異形棒鋼（岐阜市ほか8都市）、レディーミクストコンクリート（普通セメント使用）（根室市ほか12都市）、再生砕石類（倉吉市ほか18都市）、アスファルト混合物（盛岡市ほか40都市）、燃料油（全国）、鉄スクラップ（全国）ほか。 【土木コスト情報】 <市場単価>インターロッキングブロック工（北海道ほか11都市）、道路植栽工（全国）、公園植栽工（全国）、橋梁用伸縮継手装置設置工（全国）、硬質塩化ビニル管設置工（全国）、砂基礎工（全国）、砕石基礎工（全国）ほか <標準単価>区画線工（全国）、橋梁塗装工（全国）、構造物とりこわし工（全国）ほか。 【建築コスト情報】 <単位施工単価>鉄筋工事（全国）、圧接工事（全国）、型枠工事（全国）ほか <市場単価>絶縁電線工事（全国） <標準施工単価>配線工事（全国）、解体工事（木造）（全国）、耐震改修工事（型枠、撤去、清掃）（全国）ほか。

- ・価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

建築構造用冷間成形角形鋼管（名古屋市ほか2都市）、伸銅品（札幌市ほか4都市）、肥料—ブランド品—（全国）、構造用合板—J A S 品—（盛岡市ほか4都市）ほか

2. 比較資料

- ・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	伸銅品が全国的に値下がりしているが、銅の国際相場との関係も含め、背景を教えてください。	伸銅品は月単位の銅相場を指標に価格を改定する商習慣がある。月平均で見ると銅相場が若干下落したため、伸銅品も値下がりした。一方、足元の日次相場は若干上昇しており、相場の変動が速やかに反映されるスクラップは上伸となった。同じ銅関連製品でも、指標の違いにより上伸下落の結果となった。
質問 2	セメントは製造過程で石炭を使用していると聞かすが、中東情勢を受けてこの4月以降さらに上昇するのか。	近畿地区などで袋セメントが上伸したが、これは中東情勢の影響によるものではなく、従前の値上げが地区ごとに浸透したものである。また、大手セメントメーカーは2027年4月からの値上げを予定しており、2026年4月以降に値上げ額が公表される見込みである。石炭価格の上昇が続いた場合には、大幅な値上げとなる可能性もある。
質問 3	レディーミクストコンクリートについて、大阪地区の値上げの状況を教えてください。	大阪地区では、2026年4月出荷分から8,500円/m ³ の大幅な値上げが表明されている。ただし、この値上げには、2027年4月に予定されているセメントの値上げ分は織り込まれていない。セメントの値上げ額によっては、値上げ交渉に影響を与える可能性もある。
質問 4	土木コスト・建築コスト情報について、補足コメントにある専門工事業者とは一次下請けのことか。また、価格に輸送コストは含まれるか。	専門工事業者とは、一次下請けの工事業者を指している。輸送コストについては、材料の現場搬入や機材の運搬費等が基本的に価格に含まれている。ただし、単位施工単価へ移行した型枠工事と鉄筋工事については、運搬費を別の科目で計上しているため、価格には含まれていない。

質問 5	電線について、足元で銅が下落しているが価格が横ばいとなっている。銅と電線の相関関係を教えてほしい。	銅と電線には強い相関関係がある。銅相場は日々変動しており、足元では下落しているが、依然として高値圏で推移している。月平均で見ると若干の下落にとどまり、電線価格には変動が見られなかった。
質問 6	国土交通省の設計労務単価改定や、イラン情勢に伴う原油価格の上昇について、当月の市場単価や土木工事標準単価に影響はあったのか。	設計労務単価の改定については、土木工事標準単価には反映している。一方、市場単価については民間取引であるため、影響は今後表れてくるものと見ている。また、原油価格については、燃料油価格が3月に入ってから上昇が続いており、両単価ともに、次回以降の改定で反映される可能性がある。
質問 7	鉄スクラップについて、アジアからの引き合いが増えているとの報道があるが、鉄スクラップ価格との関係はあるのか。	東京地区では2,000円上昇している。輸出価格の上伸に伴い、国内の電炉メーカーや問屋が購入価格を引き上げたことが要因である。海外相場に合わせた値動きであり、為替の影響も受けている。
質問 8	土木コスト情報で労務費上昇の影響とあるが、入札契約適正化法による労務費明示の義務化が影響しているのか。	市場単価は材料と手間を含めた取引価格である。労務費明示の義務化の影響も考えられるが、主として材料価格の上伸や技術者不足等の需給要因によるものと考えられる。
質問 9	中東情勢による原油価格上昇は、燃料油以外の資材にどのような影響があるか。	比較的早く影響を受けるのはアスファルト関係であり、価格上昇が見込まれる。燃料油は補助金が継続されるため大幅な値上がりは想定しにくい。アスファルトは補助金の対象外であるため影響を受けやすい。また、ナフサ由来の樹脂製品等についても、今後徐々に値上がりの動きが出てくる可能性がある。
質問 10	アルミサッシは金属価格が上昇するなかでも横ばいが続いているが、メーカー側の動向はどうか。	アルミサッシについては、メーカーによる価格改定が不定期に実施され頻繁には行われていない。アルミ地金のほか加工費等も含まれるため、現時点で大きな価格変動は確認されていない。需要にひっ迫感が見られないことから、横ばいが続いている。
質問 11	単位施工単価に移行した工種について、労務費に加え諸経費の見直しの影響は反映されているのか。	諸経費率の改定があり、単位施工単価に移行した型枠工事と鉄筋・圧接工事については労務費の上昇に加え、諸経費の見直しの影響も反映されている。4月（春）号では労務費の上昇分よりも諸経費の上昇分の寄与が大きい。

質問 12	絶縁ケーブル工が市場単価から単位施工単価に移行したが、那覇の掲載状況を含め、今後の見通しはどうか。	絶縁ケーブル工は4月号で市場単価から単位施工単価に移行した。那覇についてはベース単価のみの掲載となった。シフト単価については引き続き調査を進め、那覇の掲載拡充に向けて取り組んでいく。
質問 13	骨材について、九州地区で値上げが集中している背景は何か。	北九州及び周辺地区では製造・輸送コストが増加するなか、大手砕石場が閉鎖し需給がタイトになったことで値上げが浸透しやすくなった。また、熊本地区においては半導体工場建設などの特需があり、周辺道路整備により需給がタイトになったことが背景にある。
質問 14	宇都宮地区の再生アスファルト混合物の値上げにおいて、緑ナンバー車両確保の影響はあるのか。	2026年4月からの白ナンバー規制強化に伴い、荷主にも罰則が及ぶ法改正がなされた。合材メーカーは、緑ナンバー車両を確保するための費用増加分を販売価格に転嫁することを進めている。白ナンバーの割合は首都圏に多いため、関東圏で特に影響が出始めている。
質問 15	養父地区のレディーミクストコンクリートの状況を教えてほしい。	4月号で3,000円/m ³ 上伸した。2025年5月号で協組と員外社の競合により3,000円/m ³ 下落していたが、員外社もコスト高から値上げを打ち出し、価格差が縮小したことで値上げが浸透した。協組は製造・輸送コストの増加によりさらなる値上げの意向を示しているが、直近で値上げしたばかりのため、先行きは横ばいの見通しである。
質問 16	那覇地区の道路用砕石について、生産力が低下するなか需給バランスはどうなっているのか。	那覇地区に供給していた1社が2025年6月に廃業した。設備の老朽化や労働者不足を背景に、生産の縮小や廃業が続いている。需要に目立って大きなものはないが、供給量が減っているため需給はタイトな状況にある。全国でも同様に、設備更新のタイミング等で廃業するメーカーが各地で見られる状況である。
審議結果	「建設物価」4月号、「Web 建設物価」4月号の価格動向に問題はなかった。	

以上